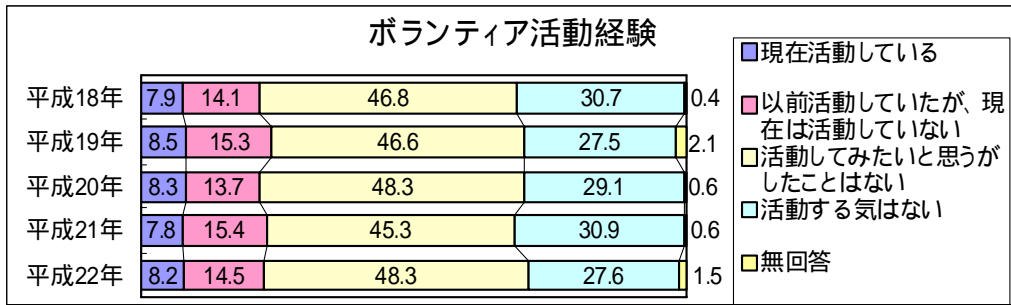
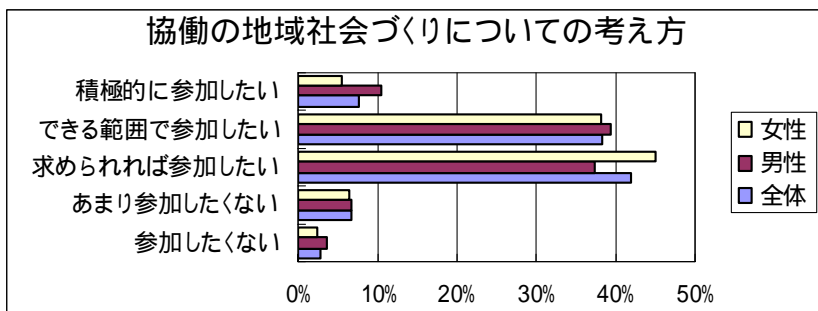


協働等に関する区民の意識等について

ボランティア活動経験(各年度における「区民意向調査」より)

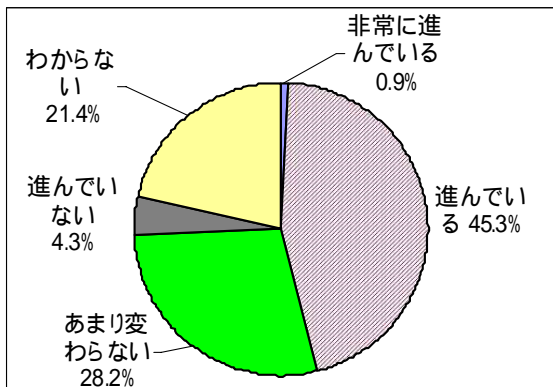


新たな基本構想づくりに向けた区民アンケート(平成22年11月実施)における「協働の地域社会づくりについて」より



平成18年度第4回杉並区区政モニターアンケート集計結果(抜粋)

- (1)区民と行政との協働によるまちづくりは、どの程度進んでいると感じていますか。 (2)地域の中で特に協働が進んでいると思われる分野について(分野は2つ以内で選択)



まちづくり	22.2%
防災・地域安全	31.5%
みどり・環境	29.6%
保健・医療	14.8%
高齢者福祉	1.9%
障害者福祉	0.0%
子育て支援	33.3%
学校教育	13.0%
生涯教育・文化・スポーツ	22.2%

- (3)地域の中で協働が特に立ち遅れていると思われる分野について(分野は2つ以内で選択)

まちづくり	15.8%
防災・地域安全	36.8%
みどり・環境	13.2%
保健・医療	13.2%
高齢者福祉	34.2%
障害者福祉	13.2%
子育て支援	15.8%
学校教育	21.1%
生涯教育・文化・スポーツ	18.4%

- (4)住民参加・協働を推進する上での問題点・課題と思われるもの(いくつでも選択可)

参加者が少ない(限定的である)	51.3%
住民参加・協働のための制度が不十分	31.6%
行政側からの情報提供・PRが不足	55.6%
行政と参加者・協働相手とのコミュニケーションが不足	47.9%
行政側の知識や技量が不十分	12.8%
NPOやボランティアの活動維持・継続のための知識や情報、人材が不足	21.4%
NPOやボランティアの活動維持・継続のための活動資金の確保が難しい	12.0%
参加していない住民の関心や協力を得ることが難しい	53.0%
住民参加・協働の評価が難しい	23.1%
その他	7.7%